

ご協力ありがとうございました。

結果をご紹介します。

古典的な精神分析 (フロイト)	→ 「中立性」「匿名性」「禁欲原則」が必要で自己開示は「行動化」であり、来談者の転移を阻害する	→ 開示しない
対人関係論/関係精神分析 (フロイトの弟子のフィレンツィ)	→ 自身の考え、気持ちなど逆転移を来談者に開示し、相互分析に役立てる	→ 積極的に開示
来談者中心療法 (ロジャーズ)	→ 透明性、純粋性に基づいて行うべき	→ 開示する

以上の結果となりました。